

小千谷市洪水避難地図

信濃川・北部版

洪水避難地図とは

この地図は、国土交通省が作成した浸水想定区域図をもとに信濃川が大雨によって増水し、堤防が決壊又は越水した場合の浸水予想と市内の避難所を表示しています。
 概ね150年に1回程度起こる洪水の規模で、信濃川中・上流域に48時間総雨量171mmの雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、信濃川以外の河川や水路などからの浸水により、想定と異なる深さとなったり、予想されていない区域でも浸水することがありますので十分にご注意ください。

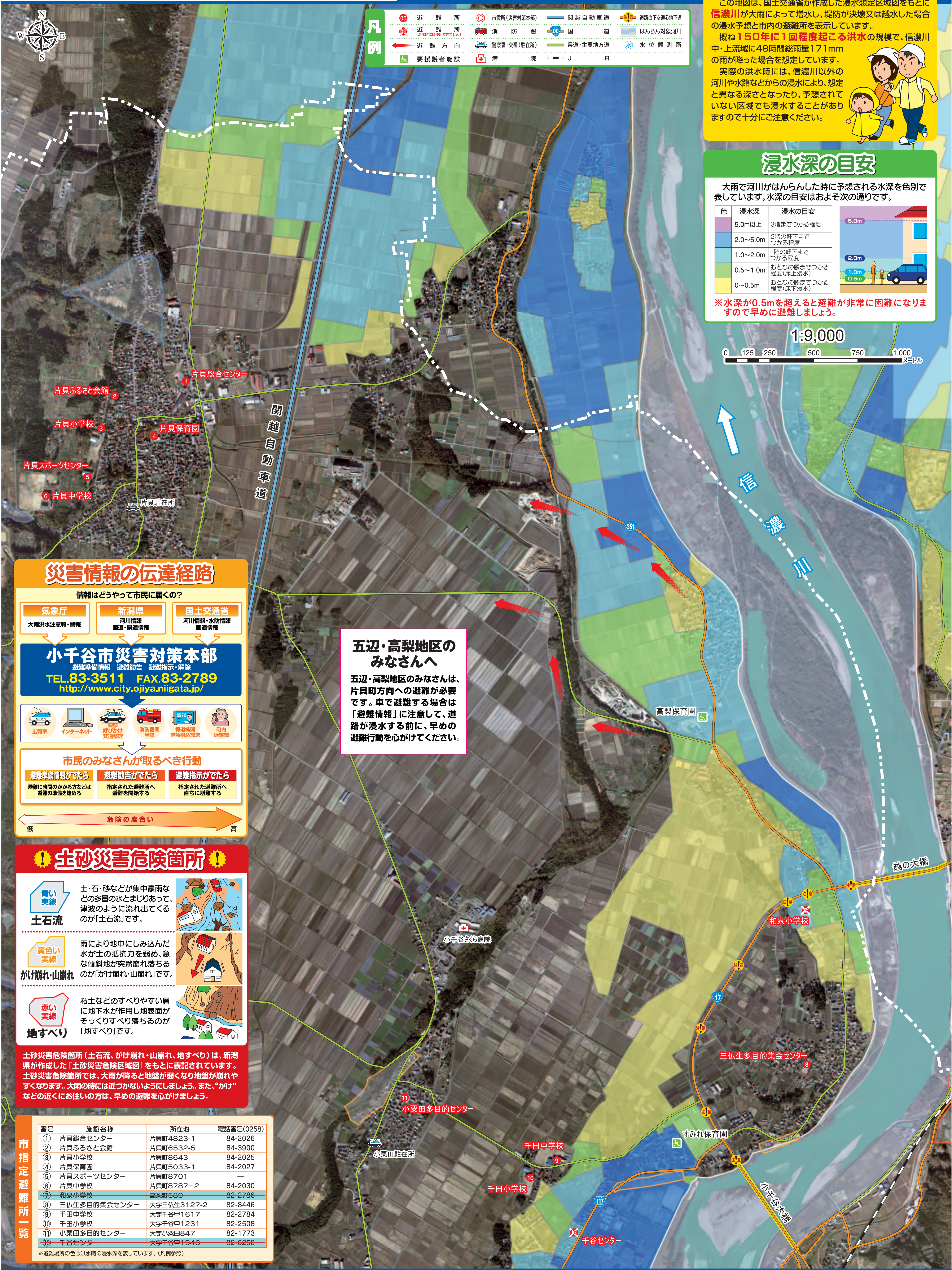
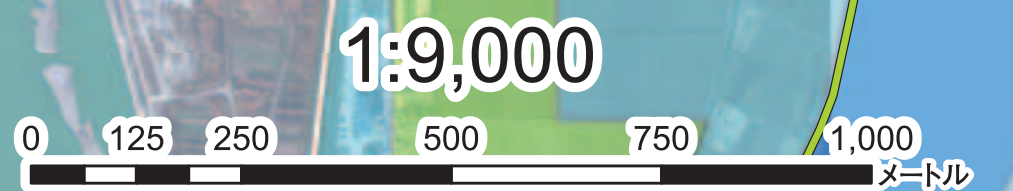


浸水深の目安

大雨で河川がはんらんした時に予想される水深を色別で表しています。水深の目安はおよそ次の通りです。

色	浸水深	浸水の目安
紫	5.0m以上	3階までつかう程度
青	2.0~5.0m	2階の軒下までつかう程度
緑	1.0~2.0m	1階の軒下までつかう程度
黄緑	0.5~1.0m	おとなの膝までつかう程度(床浸水)
黄	0~0.5m	おとなの膝までつかう程度(床下浸水)

※水深が0.5mを超えると避難が非常に困難になりますので早めに避難しましょう。



凡例

- 避難所 (赤い丸)
- 避難所 (赤い丸) (災害発生時専用)
- 避難方向 (赤い矢印)
- 要援護者施設 (緑い丸)
- 市役所(災害対策本部) (赤い星)
- 消防署 (赤い消防車)
- 警察署・交番(駐在所) (赤い警察車)
- 病院 (赤い十字)
- 関越自動車道 (青い線)
- 国道 (赤い線)
- 県道・主要地方道 (緑い線)
- J R (黒い線)
- 道路の下を通る地下道 (黒い線)
- はんらん対象河川 (青い線)
- 水位観測所 (水)

五辺・高梨地区のみなさんへ

五辺・高梨地区のみなさんは、片貝町方向への避難が必要です。車で避難する場合は「避難情報」に注意して、道路が浸水する前に、早めの避難行動を心がけてください。

災害情報の伝達経路

情報はどのようにして市民に届くの？

- 気象庁: 大雨洪水注意報・警報
- 新潟県: 河川情報 国道・県道情報
- 国土交通省: 河川情報・水防情報 国道情報

小千谷市災害対策本部
 避難準備情報 避難勧告 避難指示・解除
 TEL.83-3511 FAX.83-2789
<http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

伝達手段: 広報車, インターネット, 警察呼びかけ 交通整理, 消防機関 平聲, 報道機関 緊急前送放送, 町内 連絡網

市民のみなさんが取るべき行動

- 避難準備情報がでたら: 避難に時間のかかる方などは避難の準備を始める
- 避難勧告がでたら: 指定された避難所へ避難を開始する
- 避難指示がでたら: 指定された避難所へ直ちに避難する

危険の度合い: 低 ← → 高

土砂災害危険箇所

- 青い実線 土石流:** 土・石・砂などが集中豪雨などの多量の水とまじりあって、津波のように流れ出てくるのが「土石流」です。
- 黄色い実線 げけ崩れ・山崩れ:** 雨により地中にしみ込んだ水が土の抵抗力を弱め、急な傾斜地が突然崩れ落ちるのが「げけ崩れ・山崩れ」です。
- 赤い実線 地すべり:** 粘土などのすべりやすい層に地下水が作用し地表面がそっくりすべり落ちるのが「地すべり」です。

土砂災害危険箇所(土石流、げけ崩れ・山崩れ、地すべり)は、新潟県が作成した「土砂災害危険区域」をもとに表示されています。土砂災害危険箇所では、大雨が降ると地盤が弱くなり地盤が崩れやすくなります。大雨の時には近づかないようにしましょう。また、「かけ」などの近くにお住まいの方は、早めの避難を心がけてください。

市指定避難所一覧

番号	施設名称	所在地	電話番号(0258)
①	片貝総合センター	片貝町4823-1	84-2026
②	片貝ふるさと会館	片貝町6532-5	84-3900
③	片貝小学校	片貝町8643	84-2025
④	片貝保育園	片貝町5033-1	84-2027
⑤	片貝スポーツセンター	片貝町8701	—
⑥	片貝中学校	片貝町8787-2	84-2030
⑦	和泉小学校	高梨町580	82-2786
⑧	三仏生多目的集会センター	大字三仏生3127-2	82-8446
⑨	千田中学校	大字千谷甲1617	82-2784
⑩	千田小学校	大字千谷甲1231	82-2508
⑪	小栗田多目的センター	大字小栗田847	82-1773
⑫	千谷センター	大字千谷甲1946	82-6250

※避難場所の色は洪水時の浸水深を表しています。(凡例参照)